

## 県立茨城東高校 学校長：水田 重則

【実施日時】	平成20年10月6日(月) 11:45~12:35
【参加者と人数】	第2学年, 36名
【講師】	Banzragch Bayartsetseg (モンゴル)
【活動内容】	パワーポイントを使い, モンゴルについての講話・質疑応答など。
【参加者の感想】	<p>モンゴルは全体の30パーセントは遊牧民で, ゲルを建て移動しながら暮らすので, ゲルは簡単にばらばらになるということを知った。</p> <p>主食は肉や乳製品。料理は質素な感じで, 日本のうどんのようなもの, 羊の内臓(胃・腸)などを食べていることを知りました。羊の肉をさばいている写真は怖かった。</p> <p>モンゴルは草原が広がっているイメージだったが, 実際は砂漠が広がっていてびっくりした。砂漠があるため, 台風はないが砂嵐がある。</p> <p>首都のウランバートルには人口の3分の1が集まっています, モンゴル人は日本に留学する人が多い。働きに出るには韓国。モンゴル人は苗字の代わりに父親の名前がくる。</p> <p>高校の制服が日本のメイド服みたいで面白かった。モンゴルではクリスマスはやらない。</p> <p>お金やおはじきが見れて良かった。モンゴルは中国やロシアの影響を受けている。</p>
【担当者の感想】	<p>民族衣装を身にまとい, モンゴルの音楽をかけながら, また国旗や遊び道具お金など, 実際生徒が手に触れることができ, 丁寧にご説明いただきました。</p> <p>羊の骨を使った遊び道具は, 羊を最後まで無駄にすることなく, モンゴルの伝統や文化のみならず, 命についても学べたことは良かったです。</p>

